

## 「砂丘」と「砂像」 どちらも見てください！



左 濱本 幸信 さん 右 岡野 巧 さん  
Yukinobu Hamamoto Takumi Okano

### 砂にまみれて砂にハマる！ 砂丘の魅力新発見

みなさん、『砂像』ってご存知でしょうか？文字どおり砂でできた像のことですが、実際に目にする、「これが砂で出来てるの？」と、その美しさに思わず見とれてしまいます。

この砂の像の虜とりこになってしまったのが、今回紹介する「ふくべ砂像研究会」のみなさんです。5、6年前から、旧福部村役場の職員などが、鳥取砂丘で行われていた砂像造りを手伝っていました。平成16年、活動をワンランク・ス

トップアップさせようと発足しました。現在の会員は15名、砂の魅力に取り憑かれた人ばかりです。

この中で中心となって活動しているのが、発足前から砂像造りを手伝っている濱本さんと、入って2年目の岡野さん。ともに地元のらっきょう農家です。

濱本さんは、当時、福部村役場で臨時職員として働いていたことがきっかけで砂像造りを手伝うようになりました。「それまで砂一面の何もなかったところに、思い描いた作品が次々と生まれてい

## ふくべ 砂像研究会



く。そんな砂像の魅力にハマってしまった」と話します。

一方、それまで砂で作るものといえば小さい頃遊んだ砂山くらいしかなかった岡野さんは、研究会のチラシを見て「なんか面白そう」と入会を決めたそうです。「砂丘は、私たち福部の住民にとって、あって当然の風景。好きとか嫌いとか考えたこともなかったが、砂像造りのために毎日のように足を運び、きれいな夕日や、雪化粧をした砂丘を目にするうちに、砂丘の美しさを実感するようになりました」と照れくさそうに話します。

### 美しく儂はかない砂で 究極の砂遊び

砂像造りで一番大事なのは土台作り。使うのは砂と水だけ。木枠に砂を入れ、砂と同じくらいの水を注ぎ込み、水が下がり、砂と砂の間の空気がなくなり、この作業を何回か繰り返すことで、堅い砂の塊ができるのです。この作業がうまくいかないと、木枠を外しただけで砂が崩れたり、思うように彫れなかったりします。鳥取砂丘の砂は、粒が細かく、大きさが揃っているため、特に固まりにくく